



岩 屋区の西南端の山腹にある雲岩公園の山上には、かつて雲巖寺がありました。今も礎石が残っています。雲巖寺は奈良時代の創建伝承を持ちますが、遅くとも鎌倉時代には存在しており、有力な寺院だったと考えられています。

なぜ、雲巖寺がこの場所に造営されたのでしょうか。その答えは、境内の背後にある巨岩「雲岩」にあると考えられます。雲岩は典型的な「磐座（神の鎮座する所）」で、

磐座は古代から信仰の対象とされてきたものです。

そこで、この地域で岩に係する事柄を探すと、平安時代には存在したとされる阿知江部神社があります。この「いそ」は磯ではなく、古代では岩も意味することがあります。「部」は場所のことです、部は「岩のある所」を意味します。鎌倉時代には、岩屋「四辻」加悦奥のあたりを「大石庄」と言いました。巨岩が広い地名の代名詞だったのです。

そして、江戸時代初期には岩屋村が登場します。岩屋とは岩の洞穴のことです。雲岩の下に石仏が安置されているくぼみがあります。このくぼみが岩屋のことだと推察されます。かつて人々は、神聖な巨岩と一体的なくぼみには霊力が充満していると想像したのでしょう。この雲岩は古代から地域のシンボルであり、今も岩屋という地名の由来として鎮座しています。

（与謝野町教育委員会）

与謝野駅周辺活性化＆移住・定住促進活動担当 郭 珍秀 隊員



丹後山田駅の開業を祝う人でにぎわう駅前
（大正15年7月31日撮影）

現 在、下山田地区公民館には、時間の流れを感じさせる数枚の白黒写真が展示されています。これらの写真は、100年前の丹後山田駅（現・与謝野駅）開通の様子を捉えたもので、駅前を埋め尽くす人々や自動車、そして開通を祝う華やかな門などが写し出されています。写真の風景からは、当時の住民の皆さんがいかに丹後山田駅の始まりに大きな関心

と愛情を注いでいたかが伝わってきます。

それから100年が経った7月、与謝野駅は100回目の誕生日を迎えました。7月12日は100周年を祝う1日となり、朝から100周年記念式典が行われ、「ヨサノガーデンフェス2025」が幕を閉じる夜まで、駅は1日中、多くの人々の活気であふれていました。まるで100年前のあの日の熱気がよみがえったかのように、皆が心一つにして与謝野駅の100周年を祝いました。

祭りの会場は、多彩な楽しさで豊かでした。与謝野駅の旧名『丹後山田』行きの表示を付けたKTR700形「みやづ号」と観光列車「あかまつ」は、祭りの熱気の中で安らぎの休憩空間となっていました。レトロな雰囲気漂うボンネットバスが会場に展示されたり、与謝野の特産品であるホップを実際に収穫する体験は、単なる食の祭りを超え、五感で楽しむ特別な経験を届けました。

日が暮れて午後8時になる



多くの来場者でにぎわう与謝野駅前
（ヨサノガーデンフェス2025）

と、夜空は華やかな花火で彩られました。まるで100歳の誕生日ケーキのろうそくのように夜空を明るく照らした花火が消えるとき、私は与謝野町での願いを静かに込めてみました。

盛大な祭りが終わり1ヵ月後の8月11日、下山田地区公民館では「与謝野駅周辺まちづくりワークショップ」が開催されました。このワークショップは、100年後も鉄道とともにある

まちをめざして、与謝野駅周辺のまちづくりについて一緒に考えるために設けられた意義深い場でした。ワークショップには、各界各層の方々が集まり知恵を出し合いました。通勤、旅行、学校行事など、与謝野町の方々それぞれの思いの中に存在する与謝野駅を中心に、いかにすれば与謝野駅周辺を活性化することができるか、熱のこもった議論が交わされました。

このように住民が直接参加して地域の未来を描いていくワークショップは、今後も継続される予定です。与謝野駅だけでなく、与謝野町の力を共に育んでいくこの意義深い旅に、あなたも参加してみませんか。

山田地域と与謝野駅周辺の活性化に向け、与謝野町のPR活動をしています。与謝野町や丹後地域で活動する様子をYoutubeに公開しているので、ご覧いただくと励みになります。動画には私も映っているので、まちで見かけたら、気軽に声をかけてください！



Youtube

ペットを飼っている方へ

フンや尿は、
飼い主が責任をもって
後始末しましょう。



散歩中はリードを付け、
迷惑となる場所での
排泄を避ける

フンをした場合は必ず持ち帰り、自宅で処理をしてください。放置は重大なマナー違反です。尿についてもそのまま放置せず、水で洗い流すなど最低限の配慮が必要です。

フンや尿で、「公共の場所」や「他人の敷地」を汚すことは絶対にしてはいけません。一人ひとりのマナー違反が、地域全体の迷惑となります。飼い主の皆さんは、責任ある行動を徹底し、人と動物が安心して共生できる社会づくりにご協力をお願いします。

犬のトイレは自宅で
すませてから散歩へ

日ごろから自宅で排泄できるようにしつけることは、飼い主の義務です。悪天候や体調不良などの際にも犬に不要な我慢をさせずにすみ、さらにフンや尿による近隣への迷惑も防げます。

問 農林環境課（加悦庁舎） ☎ 43-9023